

紙智子参議、西野道委員長先頭に党道委員会

2013新春ダッシュ

4日朝、紙智子参議院議員を先頭に、西野敏郭道委員長、青山書記長、はたやま和也副委員長ら北海道委員会勤務員が、道庁などに出勤する労働者に新年のあいさつに立ちました。「おはようございます」と挨拶を交わす人、会釈していく人など職場に向かう人々にビラを手渡しました。



道選挙区候補に

森つねと党道国政相談室長が



1月7日、午後3時から党道委員会は、参議院選挙北海道選挙区候補として森つねと道国政相談室長を擁立すると発表しました。紙智子参議が同席し、青山書記長が森つねと氏を紹介、森氏は「TPP阻止、原発ゼロへ、憲法をまもり、暮らし・平和を破壊する逆流と立ち向かう」と力強い決意を述べました。



元旦から宣伝に立つ 紙智子参議院議員

穏やか天気になったとはいえ、寒い元旦の朝、初詣でにぎわう白石神社前で、その後、清田区のアシリベツ神社で新年の挨拶しました。アシリベツ神社のある清田区は、紙智子議員の生まれ育った地域です。ここには、10人の支部のみなさんが「国民の願い実現に今年も頑張ります」と横断幕を掲げ、のぼりを林立させて元気な姿を示しました。

紙智子議員は、「再び政権を獲った自民党、公明党は原発再稼動と新・増設、TPP参加や憲法改悪など国民の民意と大きくかけ離れた政治をすすめようとしています。大変危険な動きです。この悪政をすすめようとする勢力としっかり立ち向かえるのは日本共産党です。今年は参議院選挙の年。私は国会で12年、総理大臣7人、農林水産大臣17人とやり取りしましたが、再選を果たし原発ゼロへ、TPP絶対阻止を、平和と民主主義守るためにがんばります」と訴えました。

初詣の市民から“がんばってください”と声をかけられ、ビラを手渡しながらかわしました。

【森つねと氏の略歴】1978年1月20日生まれ。札幌市内の小学校、中学校を卒業。北広島西高校から道東海大学に入学し日本共産党に入党。卒業後、学童保育指導員として働きました。民青北海道委員会、党北海道委員会勤務員、「しんぶん赤旗」記者を歴任。昨年の総選挙で小選挙区3区候補として活躍。英検準2級、中型車運転免許取得。